

はこジ郎の がらがら ジオ日記

梅雨の時期に入る前に真鶴町のジオサイト「しとどの窟」に行ってきました！真鶴港を目の前にして、県道のすぐわきにある窟で、今は入口がふさがれていて中には入れないんだけど、この窟は歴史上のとある人物と深〜い関係があるんだよ。

みんなは鎌倉幕府を開いた源頼朝を知っているよね。幼い頼朝は源氏と平氏の争いに巻き込まれ、流罪となって長い間、伊豆で流人生活をおくっていたんだって。そして、いざ旗揚げし、平氏に戦いを挑んだ戦いが1180(治承4)年の「石橋山の戦い」だよ。ここで大敗を喫した頼朝は、この地にあった窟に身を隠しながら箱根山中を逃げ回り、真鶴の海岸から船で安房国(現在の千葉県)へ落ちのびて、この地で再挙したんだ。その後の歴史はみんなの知っているとおりさ！この時に身を隠した場所が「しとどの窟」で、実はこの名前の窟は湯河原町にもあって、同じくジオサイトになっているんだよ。きっと頼朝は山の中を逃げる時に、こういう窟に何度も身を隠しながら追手から逃げたんだね。敵に見つからないかドキドキしただろうな〜

真鶴町にある窟は、真鶴半島をかたちづくる安山岩質の真鶴溶岩からできているよ。この溶岩が、海の波による侵食によって削られ洞窟になったもので、海食洞と呼ばれるものだよ。頼朝の時代には窟も約130mの奥行きがあったと言われているけど、その後の侵食で、幕末には幅3m、奥行き11mほどの大きさになったんだって。当時は波打ち際に面していた窟は、1923年の大正関東地震による土地の隆起によって、現在の高度になり海から少し離れた場所になったんだって。大地の動きってすごいんだね〜

ちなみに「しとどの窟」の名前の由来は、頼朝が窟に逃げ込んだ際に、平氏の追手が窟をのぞくと「シトト」と言われる鳥(ホオジロの一種)が急に飛び出てきたので、人影がないものとして追手が立ち去ったことからこの名前が付いたと言われているんだよ。頼朝は運が良かったんだね！

最後に頼朝と真鶴町の深い関係を示すエピソードをひとつ！頼朝はこの地で多くの村人に助けられたことから、村人に「青木」「五味」「御守」の姓を与えて、その労に報いたんだって。今でも真鶴町に青木さんは多いけど、そのご先祖は頼朝を救った優しい人なんだね。

真鶴町の海辺のお散歩にぴったりのこの時期に、はこジ郎は今回も真鶴町の歴史に関わるスポットに行ってきました。

今回紹介する場所は真鶴港の近くにある「しとどの窟」です。この窟には、どんないわれがあるのでしょうか。

照会先 企画課 ☎85-9560



真鶴町の「しとどの窟」

消防の仕事

No.3

第3回目は救助隊の仕事を紹介します。救助隊は、宮ノ下の本署に配属されており、災害時には救助工作車や梯子車で出動します。昨年の1年間で出動した救助の件数は23件でした。オレンジ色の作業服を着た救助隊員が、24時間体制で町内の全域で起きた事故や火災現場などに出動し、災害の対応をしています。

【救助車両】

①救助工作車は4輪駆動車であるため荒れた路面の現場でも進入が容易であり、装備されているクレーンやウインチを活用して障害物を取り除いたり、照明を使用して暗い場所でも活動できる車両となっています。また、火災に対応するため送水の出来る可搬式のポンプおよび120リットルの水を積載しています。その他にも色々な救助活動に必要な資機材を積載しています。

【火災現場での活動】

火災現場では、家の中で助けを求めている人を救出したり、取り残されている人がいないかを、確認する活動を行います。また、消火にあたっては消防隊の支援活動



【交通救助活動】
交通事故により車両の中に閉じ込められた人や、挟まれた人がいた場合、大型油圧器具を使用しドアを破壊したり、挟まれている場所を広げたりして救出活動を行います。

【山岳救助活動】
山で怪我をして動けなくなってしまう人や急に具合が悪くなった人、道に迷ってしまった人などを助けます。登山用の器具、ヘリコプターにより上空から吊り上げができる担架等を用意して現場に向かい救助活動を行います。

【水難救助活動】
湖や川で行方不明になった人、おぼれてしまった人など水での事故が起きたときに水難ボートを積載して出動します。現場では、ウェットスーツおよび潜水用空気ボンベを着装します。

【お願い】
ハイキングコースを歩かれる方は余裕のある計画を立て、慌てて下山をしてケガなどしないようお願いいたします。万が一、ケガなどで動けなくなった場合は、ハイキングコースに50メートル間隔で杭が立てられていますので、その番号を消防へ伝えてください。

6月は二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間

箱根町内では、オートバイや自転車に関係する交通事故が多発しています。箱根の道路は見通しが悪いため、カーブ手前では減速し、無理な追い越しやスピードの出過ぎは絶対にやめましょう。事故によって一瞬であなただけの人生が変わります。そして、あなただけではなく、周りの人も辛く、悲しい思いをすることを肝に銘じ、安全運転を心掛けてください。

明星展・社会教育センターまつり

社会教育センターの定期利用団体で構成された「明星展」主催による作品展「明星展」と「社会教育センターまつり」を開催します。今年度は町制60周年を記念し、各団体が制作した記念品を渡します。(数に限りがあります。)

期間 6月3日(金)〜5日(日) 9時〜17時※最終日は16時まで

場所 社会教育センター

- 内容
- 町制60周年記念 第37回明星展
 - ・絵画、手工芸などの作品展示
 - ・お茶席(4日(土)10時〜15時)
 - 【第28回社会教育センターまつり】
 - ★は「1日体験教室」で、いずれも予約不要、10時〜15時の間で随時参加できます。※材料費が必要です。押し花教室のみ11時から。
 - 《3日(金)》
 - ★絵手紙教室(2000円)
 - 囲碁大会 13時〜17時
 - 《4日(土)》
 - ★篆刻教室(3000円)
 - ステーションコーナー(大正琴・ウラダンス) 13時30分〜14時30分
 - 《5日(日)》
 - ★押し花教室(3000円)
 - ★パン粘土教室(4000円)
 - くみひもの実演 10時〜12時
 - 音楽のついで(コーラス・演奏) 13時30分〜15時
 - 《その他》
 - 大正琴のデモンストレーション 4日(土)10時〜11時、15時〜16時・5日(日)10時〜15時
 - 《期間中》
 - エッセイの展示
 - 雑誌のリサイクルコーナー 保存期間が過ぎた雑誌を無料配布します。
- 照会先 社会教育センター ☎82-2694

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』 徳育(小・中学校編)

小・中学校の「箱根ハートフルプログラム」は、子どもの社会性を学んだり、豊かな心を育んだりする体験活動(エクササイズ)を、各学年6時間行い、学んだことを日常化・定着化させていくものです。プログラムは、色々な学習理論をもとに作られたエクササイズを、「豊かな自分づくり」「ともだちづくり」「仲間づくり」の3つの視点で、子ども達の発達段階に応じて系統的に配列しています。例えば、「豊かな自分づくり」では、友だちを元気にする言葉や嫌な気持ちにさせる言葉を探したり、「ともだちづくり」では、相手のジェスチャーを見て、言おうとすることを考えたり、「仲間づくり」では、グループで相談して多数決で合意を得てランキングを決めたりするような活動を行っています。

“子どもたちの変化”

- ♡悪口を言う児童・生徒が少なくなった。
- ♡クラスが楽しいと思える児童・生徒が増えた。
- ♡自分に自信がもてる児童・生徒が増えた。



小学2年生 みんなで輪くぐり



中学2年生 協力し合って、間違いを探せ!



小学4年生 ジェスチャー伝言



小学5年生 相手を思いやっての球運び

このような活動を単学年ではなく、小1から中3までの9年間にわたり積み上げあげていくことで、子どもたちの社会性を育む一助になり、「自立」と「共生」の力をさらに高められることが期待できます。